

キャッチフレーズ

「明るいあいさつ しっかり返事 響く歌声」

# せな



龍郷町立大勝小学校 学校便り 令和3年5月号

## 読書のすすめ（「南島雑話」から）

校長 前田 浩之

梅雨入りし、うっとうしい日々が続きます。また新型コロナの発生状況からも外出を控えなければならず、ストレスフルな毎日が続いているのではないのでしょうか。こんな時は読書！全校朝会で、一冊の本を紹介しました。

「南島雑話（なんとうざつわ）」、西郷隆盛が本龍郷に謫居される数年前、薩摩藩のお家騒動で名瀬の小宿に流された上級武士の名越左源太（なごやさげんた）が、五年間で経験した奄美の動植物や伝説、祭りなどを詳細な挿絵入りで記した、奄美民族誌のバイブルとも言える本です。

その中に、ワニの話があります。住用の内海にワニが出没し、住民が捕らえ食べた話です。「奄美大島にワニ？あり得ない！」と思うかもしれませんが、実際に2017年に加計呂麻島で2頭のワニが見つかり、全国ニュースとなり、大騒ぎになりました。また、昭和49年にも瀬戸内町の海岸で高校生が捕獲し、国民宿舎で飼っていたワニの剥製も、瀬戸内町の郷土館に展示されています。奄美にワニはいる（いた）のです。

また、この本には八月踊りなどの祭事の期日や様子なども詳細に記されており、奄美出身の私たちがさえ知らない（知識として伝承されていない）大切な記録の宝庫となっています。子どもたちには「本の役割」と称し、「読書をたくさんすると頭が良くなる。」「本はテレビやインターネットなどのない時代を記録する役割も持っている。」と話をしました。

奄美大島は1447年から約150年間、琉球王朝の支配下にありました。祭事を司るノロは、琉球王朝に任命された公務員であり、各集落に伝わる八月踊りの中心であったはずですが。その後薩摩藩の侵攻により、琉球と薩摩の文化が絶妙に混じり合い、奄美独特の文化が生まれたと考えられています。奄美の自然が世界遺産になるという流れに、奄美の文化も世界遺産に登録したらどうかという話は、こういう流れから来ているのです。沖永良部の中学校に勤務時代。薩摩武士の格好で、歌詞も薩摩、しかし曲は琉球音階で踊る「奴踊り」を見たときに、ネイティヴの島人（シマンチュ）を自認していた自分が、奄美の歴史を知らないことに気付かされたのを思い出します。

「南島雑話」、琉球の文化と薩摩の文化が、奄美で混じり合う時代の本です。「りゅうがく館」図書室に関連する書物が3種ありました。挿絵を見るだけでも面白い。大人にも、子どもにもおすすめです。

## 命を守る学習～交通安全教室、安全教室（不審者）、引き渡し訓練、避難訓練（火災）～



5月は、13日（木）に交通安全教室、20日（木）に安全教室（不審者対策）、21日（金）に児童引き渡し訓練、25日（火）に避難訓練（火災）を実施しました。

それぞれのケースにおいて、自分の命を守るためにどのような行動をとらなければならないのかということ、体験を通してしっかり学ぶことができました。

## なかよし読書



本年度も6年生による下級生への読み聞かせである「なかよし読書」を毎月第2土曜日の朝の活動で行っていきます。

8日（土）が第1回目となりましたが、6年生は立派にその役割を果たすことができました。

これからも楽しみです！

## スケッチ大会書



12日（水）にスケッチ大会が行われました。全学年、時間いっぱい、自分の描きたいものを、のびのびと画用紙に表現していききました。素敵な作品が完成し、子どもたちも満足気でした。

## 6月の行事予定

1日（火）	水泳学習開始（～7/17） 歯と口の健康教室（低）
3日（木）	人権教室
10日（木）	歯と口の健康教室（中）
12日（土）	土曜授業
17日（木）	学校保健安全委員会
18日（金）	春の一日遠足
29日（火）	P T A 理事会
30日（水）	学力水準向上推進大会

歯科指導 5年 「全国歯みがき大会（日程調整）」  
6年 養護教諭による指導（日程調整中）